

# 新幹線と三市一町

平成25年9月24日  
(火) JR西日本本社へ要望!

作野白山市長、酒井能美市長、栗野々市市長、前川北町長の4名が、石川県の黒野企画振興部長に随行し、北陸新幹線の運行主体であるJR西日本の本社へ白山駅構想の理解と協力要請を行っています。

どうすれば良いかを一緒に考えていきたい。」と回答がありました。

また同日、鉄道・運輸機構大阪支社に要請! 鉄道・運輸機構の大阪支社へ白山駅(仮称)の構想について説明。事業実施に手戻りが生じないようお願いをしています。

## 白山市に新幹線駅を

深沢支社長が対応。深沢支社長からは、「新駅の追加が決まれば、良い方向になるよう協力したい。」との回答がありました。

このように昨年も、地域の行政が一体となって要請行動を展開しています。

昨年末に、財団法人北陸経済研究所(富山市)主任研究員の藤沢和弘さんに見解を聞きました。新幹線白山駅の実現可能性は大だとの見解でした。

地球の生物の一員であれば、人を好きになるのは本能的なことで、実に自然なことです。

食文化における料理も、恋愛と同じ人間の文化です。好きな食物と人を好きになる事は、何でもいいのとは違う。

なぜ恋愛の相手は特定の誰かなんでしょう。

その人を愛することは、自分を愛することです。自分を愛せない人は、他人を愛せることができない。

心と体は一体です。内と外は一体です。別々ではあり得ない。

## 変な人

地球の生物の一員であれば、人を好きになるのは本能的なことで、実に自然なことです。

食文化における料理も、恋愛と同じ人間の文化です。好きな食物と人を好きになる事は、何でもいいのとは違う。

なぜ恋愛の相手は特定の誰かなんでしょう。

その人を愛することは、自分を愛することです。自分を愛せない人は、他人を愛せることができない。

心と体は一体です。内と外は一体です。別々ではあり得ない。

実と、ほど遠いものです。なぜを社会に託すのでなく、各人が内側で為すのです。現実を動かしているのは観念(規制)ですから、観念が変わらなければ現実も変わらなぬのです。

見える現実を動かす見えない力の観念が働き、現実が良く見えないだけに事実が忘れられます。

観念を破る自由は何人も許され、守るのもやっばいといふと考える自由も許されています。

したいことをし、破る覚悟と責任で、報いとしての「罰」を受けることに、悔いなどは無いはずで、理想と現実がそもそも別ではなく最初から一体です。別物と思っている観念が現実を作っています。

状況や環境によって現実が作られるのではない。私達の思いや考えが現実を作り出しています。

即ち多くの人が、社会を良くする理想を失わない限り、白山新幹線駅は現実です。

精神の価値は自分を自覚することから生まれます。

精神の死は、たとえばお金や快樂を得るためズルイ人は集うもので、且つ勇氣がなく逃げ回る。

賢者は「卑怯」によって生き延びるより死を選ぶ精神で、神に自身を曝け出すのだから。

善悪の判断は法という紙上には無い、人が内に持つ基準が全てです。

この価値観を知らず取り違える変な人を知っている。



(有)西川経営オフィスサービス  
中村会計  
事務所便り  
2014年1月10日(金) NO 329  
地域から明るい未来を作ろう